

フォトニック結晶の 光通信から光産業への展開

(株)フォトニックラティス

要旨

自己クローニング・フォトニック結晶の最も顕著な特徴は、異なる特性を有するフォトニック結晶をモノリシックに複合化することが可能なことである。この特徴を生かして開発・製品化を進めている。

- ①次世代高速光通信システム用偏波モニタ
- ②薄膜の厚さや屈折率を計測する小型軽量でポータブルなエリプソメータ
- ③輝度情報だけでなく偏光情報も同時に取得し、解析することのできる偏光イメージングカメラ

等を紹介する。

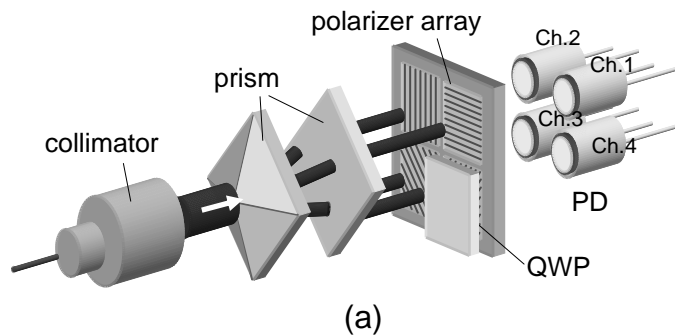
発表目的

開発パートナー探索と製品のマーケティング

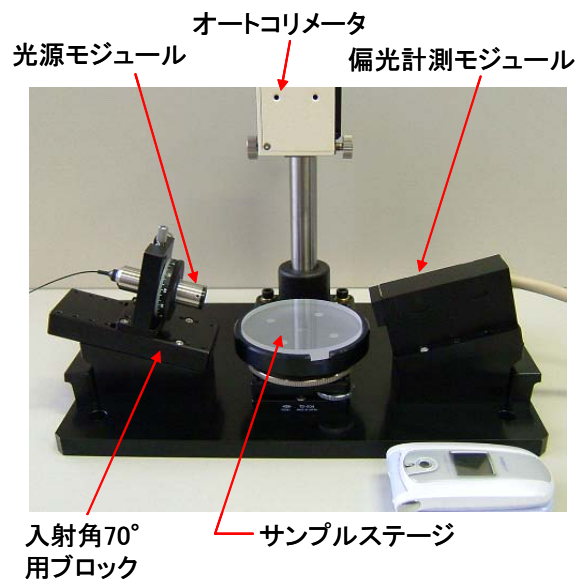
フォトニック結晶複合光学素子の応用



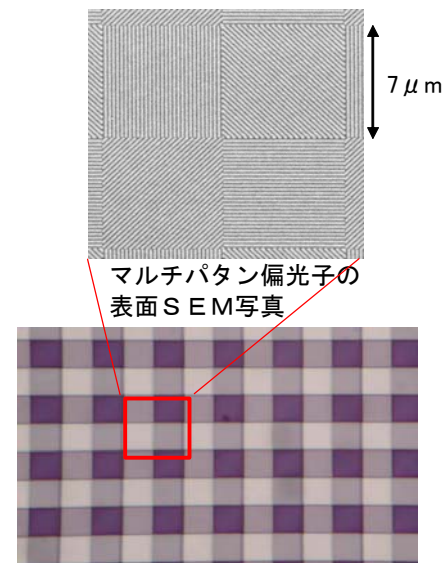
フォトリック結晶複合光学素子の応用製品例



(a) (b)
例1. 次世代高速光通信用小型・高精度DOPモニタ



例2. 小型・軽量・ノンメカニカルエリプソメータ



例3. 偏光イメージングカメラ